

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】令和5年7月11日(2023.7.11)

【国際公開番号】WO2021/001547  
 【公表番号】特表2022-539379(P2022-539379A)  
 【公表日】令和4年9月8日(2022.9.8)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-166  
 【出願番号】特願2021-577542(P2021-577542)  
 【国際特許分類】

10

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

【 F I 】

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月30日(2023.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エアロゾル発生装置であって、

近位端と、前記近位端とは反対側の遠位端とを有し、前記装置空洞の前記近位端が、前記エアロゾル発生物品を受容するために実質的に開放している、装置空洞と、

エアロゾル形成基体を加熱するように構成された誘導加熱装置であって、

前記エアロゾル形成基体を加熱するための変化する磁界の貫通によって加熱可能なサセプタ装置と、

第一のLC回路であって、前記装置空洞の前記近位端に向かって配設された第一のインダクタコイルおよび第一のコンデンサーを少なくとも備え、第一の共鳴周波数を有する、第一のLC回路と、

30

第二のLC回路であって、前記装置空洞の前記遠位端に向かって配設された第二のインダクタコイルおよび第二のコンデンサーを少なくとも備え、また前記第二のインダクタコイルが、前記第一のインダクタコイルとは異なる巻数を有し、前記第一のLC回路の前記第一の共鳴周波数とは異なる第二の共鳴周波数を有する、第二のLC回路と、を備える、誘導加熱装置と、

前記第一のインダクタコイルで第一の変化する電流を駆動し、その後、前記第二のインダクタコイルで第二の変化する電流を駆動することにより、エアロゾル形成基体の加熱を開始するように構成されたコントローラ、を備える、エアロゾル発生装置。

40

【請求項2】

前記コントローラが、前記サセプタ装置の第一の部分を加熱するための第一の交番磁界を生成するために第一のAC電流で前記第一のLC回路を駆動するように構成され、

前記コントローラが、前記サセプタ装置の第二の部分を加熱するための第二の交番磁界を生成するために第二のAC電流で前記第二のLC回路を駆動するように構成され、

前記コントローラが、前記第一のLC回路の前記第一の共鳴周波数に対応する周波数を前記第一のAC電流に供給し、かつ前記第二のLC回路の前記第二の共鳴周波数に対応する周波数を前記第二のAC電流に供給するように構成される、請求項1に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項3】

50

前記コントローラが、第一段階の間、前記第一の LC 回路に前記第一の AC 電流を供給して、前記サセプタ装置の前記第一の部分の前記温度を初期温度から第一の動作温度まで上昇させるように構成され、かつ前記コントローラが、前記第一段階の間、前記第一の LC 回路の前記第一の共鳴周波数に対応する周波数で前記第一の AC 電流を供給するように構成される、請求項 2 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 4】

前記コントローラが、前記第二段階の間、前記第一の AC 電流を前記第一の LC 回路に供給して、前記第一の動作温度から第二の動作温度へと前記サセプタ装置の前記第一の部分の前記温度を減少するように構成され、かつ前記コントローラが、前記第二段階の間、前記第一の LC 回路の前記第一の共鳴周波数とは異なる周波数で前記第一の AC 電流を供給するように構成される、請求項 3 に記載のエアロゾル発生装置。

10

【請求項 5】

前記コントローラが、前記第一段階の間、前記第二の LC 回路に前記第二の AC 電流を供給して、前記サセプタ装置の前記第二の部分の前記温度を初期温度から前記第一の動作温度より低い第三の動作温度へと上昇させるように構成され、かつ前記コントローラが、前記第一段階の間、前記第二の LC 回路の前記第二の共鳴周波数とは異なる周波数で前記第二の AC 電流を供給するように構成される、請求項 3 または 4 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 6】

前記コントローラが、前記第二段階の間、前記第二の LC 回路に前記第二の AC 電流を供給して、前記サセプタ装置の前記第二の部分の前記温度を前記第三の動作温度から前記第二の動作温度より高い第四の動作温度へと上昇させるように構成され、かつ前記コントローラが、前記第二段階の間、前記第二の LC 回路の前記第二の共鳴周波数に対応する周波数で前記第二の AC 電流を供給するように構成される、請求項 5 に記載のエアロゾル発生装置。

20

【請求項 7】

前記エアロゾル発生装置が、前記誘導加熱装置に電力を提供するための電源をさらに備える、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 8】

前記コントローラがマイクロコントローラを備える、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

30

【請求項 9】

前記マイクロコントローラが、前記第一の AC 電流または前記第二の AC 電流の前記交番周波数として、前記マイクロコントローラの前記クロック周波数を利用するように構成される、請求項 8 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 10】

前記エアロゾル発生装置、好ましくは前記コントローラが、前記第一の AC 電流および前記第二の AC 電流のうち的一方または両方の前記交番周波数を生成するための発振器をさらに備える、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 11】

前記第二のコイルが、第一のコイルとは異なる方向に巻かれる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

40

【請求項 12】

前記第二のコイルが、前記第一のコイルに対して異なる長さを有する、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置と、エアロゾル形成基体を含むエアロゾル発生物品とを備える、エアロゾル発生システム。

50